

R.I. D.2740 JAPAN
佐世保ロータリークラブ

会長: 加納洋二郎 幹事: 納所 佳民
事務所: 佐世保市島瀬町10-12 親和銀行本店内 TEL 0956-22-7720 FAX 0956-25-6323
例会会場: レオプラザホテル佐世保 (毎週水曜日) TEL 0956-22-4141
http://www.sasebo-rc.jp/ E-mail: src@circus.ocn.ne.jp

令和 2 年 10 月 14 日

第 3,402 回例会

NO 10

《本日》会員数 76 名 (出席免除会員 24 名)・出席 56 名・欠席 20 名・ビジター 1 名・出席率 73.68 %

《9月30日》会員数 77 名 (出席免除会員 23 名)・出席 55 名・欠席 22 名・メークアップ 0 名

会長挨拶

会長 加納洋二郎

皆さんこんにちは。すっかり秋
めいて、朝夕が肌寒くなりました。
ついこの間までの夏の暑さが嘘の
ようです。

一昨日、海上自衛隊の総監が新
しく赴任されたため推戴状を持参いたしました。
出口佳努海将です。



ちょうどその日から全国的に海上自衛隊の訓練
期間に入ったとのことで、総監自ら迷彩服を着ら
れて「この姿での対応をお許してください」とのお
断りがありました。その出口総監に言われて、初
めて気づいたことですが、陸上自衛隊の迷彩服は
ご承知の通り草色です。当然カムフラージュの色
です。そして、海上自衛隊は水色です。海上自衛
隊のカムフラージュは果たして必要あるのか？も
し海に落ちたら？ユーモアあふれる新総監でした。

皆様によろしくと仰っていましたが、環境が許
せば卓話には是非お呼びしたいものです。

さて、10月に入りノーベル賞の話題ですが、
今回ノーベル平和賞を世界食糧計画 (WORLD
FOOD PROGRAMME) が受賞しました。

WFPって聞いたようでもあり、ひょっとすると
あまり一般市民に浸透していない頭文字かもしれ
ません。かつて戦後の日本でも学校給食で栄養補
助目的に飲んでいた脱脂粉乳がそれです。私も小
学校の頃お世話になりました。

このWFPが今も力を入れているのが、食糧難
の地域で学校給食を通じて教育の場を与えよう
という計画です。実は、現在私どもの缶詰業界では
ODAの一環として、このWFPを通じてサバやツナ
の缶詰を食糧難の国々へ送っております。

この関係でカンボジアやスリランカ等、紛争後

の荒れ果てた地域も拠出先であり、食糧事情実
体調査で現地視察の経験があります。WFPからの拠
出品である豆や米やサバの缶詰などを学校で調理
し給食にしていました。以前テレビ等でもWFPに
関する広報がなされていましたが、まさに学校に
行くと給食が食べられるということで子どもたち
を集めて教育を行うというプログラムです。それ
でも毎日食べられるほどの物資量ではありません
でした。

そして、ここにもコロナ感染による異変が起こ
っており、コロナの影響で学校閉鎖ということで
唯一の食事がとれなくなったりしており、新たな
苦労があるようです。

自然災害は別として、紛争を通じて食糧難を引
き起こすのも人間ですが、一方では世界の組織で
援助をおこなっているのも人間です。

日本はなんだかんだ言っても平和な国です。厳
しく、たくましく生きている国々もあることを、
今回は少し思い出したいと思いました。

例会記録

- ロータリーソング「我等の生業」
- ビジター 佐世保南RC 橋本 昭さん

幹事報告

幹事 納所 佳民

1. 公益財団法人ロータリー米山記念奨学会

理事長 齋藤 直美さん

10月米山月間資料のご案内

豆辞典、米山委員長手引き、寄付マニュアル、
2019年度事業報告書、2019年度決算報告、
学友会特集号

2. 国際ロータリー日本事務局 クラブ・地区支援室

My ROTARYのリニューアルに伴う修正中の問題について

3. 公益財団法人ロータリー米山記念奨学会

ハイライトよねやま247号が届きました。

4. 第2740地区ガバナー事務所

第2740地区ホームページ更新お知らせ

5. 第2740地区

ガバナーエレクト 塚崎 寛さん

次期幹事 岡田 康信さん

2021～2022年度 地区セミナー・協議会日程のお知らせ

地区チーム研修セミナー 2021年2月28日(日)

会長エレクト研修セミナー 2021年3月14日(日)

地区研修・協議会 2021年4月11日(日)

地区RI第2740地区 地区大会

2021年11月26日(金)～28日(日)

委員会報告

70周年記念行事 実行委員会 委員長 円田 昭

本日14日(水) 18:30より、いけす博多屋において、第一回目の実行委員会委員長、副委員長会議を行います。



慶 祝

親睦活動委員会 長野 哲也

○今月の誕生祝い

大久保利博さん (8日)

平尾 幸一さん (9日)

大神 吉史さん (11日)

出端 隆治さん (13日)

古賀 久貴さん (28日)

坂本 敏さん (28日)



(2)

ニコニコボックス

親睦活動委員会 松本 祐明

佐世保南RC 橋本 昭さん

本日はメイクアップでお世話になります。

パスト会長 増本 一也さん

新会員の時に卓話して以来、25年ぶりの卓話です。引き受けてしまったものは、しょうがないので、自分にエールをおくるつもりでニコニコします。

加納洋二郎 会長、納所 佳民 幹事

福田 金吾 副幹事、長野 哲也さん

大神 吉史さん、松本 祐明さん

廣瀬 章博さん、岸川 善紀さん

森 勝之さん、円田 浩司さん

草津 栄良さん、谷川 辰巳さん

浦 義浩さん、福田 金治さん

前田 隆夫さん、田中丸善保さん

池田 真秀さん、西田 勝彦さん

橋高 克和さん、大久保利博さん

古賀 巖さん、坂元 崇さん

中島 顕さん、吉田 英樹さん

木村 公康さん、安福 竜介さん

大神 邦明さん、山口 健二さん

中村 徳裕さん、松尾 文隆さん

井上 齊爾さん、芹野 隆英さん

陣内 純英さん、梅村 良輔さん

黒木 政純さん、小石原健二さん

坂根 毅さん、石井 正剛さん

米倉洋一郎さん、田中丸善弥さん

パスト会長 増本一也さんの卓話に期待してニコニコさせていただきます。

大久保利博さん、大神 吉史さん

古賀 久貴さん

10月の誕生月をお祝いしていただき、誠にありがとうございます。

ニコニコボックス

本日合計 45,000円

累計 339,000円

「企業変革の教科書」のご紹介

パスト会長 増本 一也

- 本日は、この先行き不透明な事業環境の中で、今後の皆様の会社の成長戦略の指南書となる「企業変革の教科書」という本をご紹介します。



本日は、この本に書いてある内容を抜粋しながらお話させていただきます。

先が見通せない時代にあって、唯一確かなことは、右肩上がりのように現場力に任せていれば成長できる時代ではなくなったということです。経営の感度と感性が今ほど問われる時代はありません。これまで以上に、経営力が問われている時代だということです。

そこで、企業がV字回復でもカリスマ依存でもない根本的な体質改善を成し遂げ、持続的成長を可能にする為にはどうすれば良いのか、それが本書の大きなテーマになっています。

- 著者は、^{なわたかし}名和高士さん。東京大学法学部をご卒業後、三菱商事に入社。

ハーバードビジネススクールでMBAを取得され、日本人として2人目のベーカー・スカラーを授与されておられます。20年間、マッキンゼーのディレクターとしてコンサルティングに従事され、その後、日本、アジア、アメリカなどを舞台に、多様な業界において次世代成長戦略、全社構造改革などのプロジェクトに携わってこられました。

現在は、一橋大学大学院、経営管理研究科の客員教授としてご活躍されています。

- ところで、皆さんは、「シンギュラリティ」という言葉をご存じでしょうか。

それは、2045年にやってくると言われております。

シンギュラリティとは、AIが人類の総知を超える転換点（技術的特異点）のことだそうです。

（アメリカの未来学者で、今は、グーグルのAI開発の総指揮官レイ・カーワイルが使った用語です。）ただし、AIの出した答えが絶対正しいとは限りませんので、AIの出した答え通りに進んでいくと人類の未来はどうなっていくのでしょうか。

現在、コロナ禍を含めて、世界は、気候変動や天災、戦争や保護主義の台頭、人口爆発や高齢化、私達を取り巻く外部環境は、異次元の変化を加

速しています。

事業環境も大きく変化し、先行き不透明な時代になっております。

先が見えない時代だからこそ、ぶれない軸を持ちつつ自ら変化を起こし続けなければ、生き残っていくことが難しい時代です。

また、この本では、企業は、絶え間ない成長を求め、進化していかなければならないと結論づけています。ややもすると、日本の企業は、危機に瀕しないと変革していかない、また、そこで業績がV字回復すると、また常態化してしまう。この繰り返しで、これはV字回復とは言わず、W字回復であると言っています。つまり、テッペンに、同じ位置で、変わっておらず、企業としては、結果的に何も成長していないということです。

では、どうすればいいのか、

この本の冒頭に、DX(デジタル・トランスフォーメーション)について、次の様に記載されています。

DXの波は、あらゆる産業に押し寄せてきています。

アマゾン効果に代表されるネット販売の猛威は、小売業のみならず、消費財メーカーを呑み込もうとしており、金融業をはじめとするサービス産業は、人工知能(AI)、IOT(Internet of thing)ブロックチェーン技術などの進展によって、労働集約型からの大転換が急務となっています。

伝統的に日本が競争力を保っていた自動車や産業財も現場の知恵をベースとした匠の世界から、デジタル技術を駆使した自動化・標準化の世界へ、競争の主戦場が急速にシフトしています。まさに、「第4次産業革命」の真只中といったところです。

ただし、デジタル技術は、単に変革の道具にすぎません。

DXの本質は、Dではなく、Xにあります。

すなわち、最新のデジタル技術を駆使して、如何に経営を「トランスフォーム(変革)」するかが、真の経営課題なのです。

それでは、どの様に変革していくべきか、その様な問いに対して本書では、一番大切なのは、「経営マインド」であると答えておられます。

経営マインドとは、野心とかいうような私欲ではなく、志ともいべき目的意識です。

善い社会、善い成長の実現に向けた「心指し」です。

その為には、「善」とは何かという根源的な問いを発し続ける必要があります。

しかも、善を見極める事は、至難の業です。

それでも、経営者は、善に基づいた判断を下さなければなりません。

善とは何かを虚心坦懐に問い続けながら、正しい判断に基づいた企業を舵取りしていく覚悟が経営者一人ひとりに求められているのです。

この善の思想とは、ロータリーの職業奉仕の精神そのものではないでしょうか。

ここで重要なのが、会社として、この思想を如何に企業内部に内在するかです。

社員一人ひとりに植え付けなければ、日々の変革は生まれません。

社員も、世の中の社会課題に対して、役にたちたいと思っている人は多いのです。

現場の志に火をつけることが出来れば、まず、大きな第一歩が踏み出せます。

一方で、危機感に訴える手法は、かなり拙稚な変革手法です。

本質的な変革を仕掛けるには、火を消すのではなく「火をつける」ことがカギとなります。

そこで、現場に火をつけることが出来れば、「自分たちは、いつまでこんなレベルのことをしてよいのか」「もっと社会に役立つことができるのではないか」「そのためには、今のやり方をどの様に変えていかなければならないか」などという問題意識の連鎖が現場に広がり始めます。この気づきの導線を創らなければなりません。

デジタル時代だからこそ、本質的な変革が問われているのです。

長々と、このような話を進めてまいりましたのは、なぜ、このような変革に取り組むべきなのか、その理由とは何か。それは、すべて次世代の為です。

非連続な変化が常態化した今日、持続的な自己変革無くして、持続的な成長はありません。よく、日本はデジタル後進国と言われていますが、現場育ちの経営陣と強い現場が一体となって、この勝負に挑めば、日本企業は、本来の競争力を取り戻すことが出来ると、著者は締めくくっています

- この本を読んでいる内に、私も自分の会社の社会的価値について考えるようになりました。

私どもの会社も、今年で創業125年目に入ってお

りますが、その歴史があるのも、佐世保市が発展したからこそ、我が社も成長できたと思います。

また、これからは、佐世保市の発展の一翼を担えるような会社になりたいと願っています。

一方で、佐世保市もこの様な経済環境ですから、新たな成長戦略が必要かと思えます。

IRや観光だけでは、現在の状況は打破できないのではないのでしょうか。

行政の発想ばかりではなく、佐世保市の発展を純粹に願う心指しをもった経営者が結集し、新たな視点での街づくりを模索する。絵空事でしょいか。ロータリーの職業奉仕の精神を發揮するときかと思えます。

最後に、今年佐世保RCは、創立70周年を迎えました。

コロナ禍の中、加納会長、円田昭70周年実行委員長は、大変苦慮されていると存じます。

私見ではありますが、周年事業を行う意義は、歴史や伝統の「伝承」にあると思えます。

佐世保RCの次世代を担う人たちに、これまでの佐世保RCの歩みや価値観を正しく伝えていくことさえ出来れば、どの様な事業を行っても良いのではと考えています。

皆さまの力を結集して、価値ある創立70周年事業にいたしましょう。

* 今後の例会予定 *

10月21日(水) 新会員卓話 内海 暢邦 さん
(株)森白汀 代表取締役)

10月28日(水) 夜例会 (70周年タイム) 18:30~

* 西海学園高等学校インターアクトクラブ例会予定 *

未定

* 長崎国際大学ローターアクトクラブ例会予定 *

未定

* 西海学園IAC、長崎国際大学RACにご出席されますと、メイクアップにもなりますのでご活用ください。

* RACへご出席される方はお食事の要・不要の確認をいたしますので、事務局までお知らせください。

(今週の担当：安福 竜介)

(カメラ担当：萩原多恵士)

クラブ会報・広報委員会

委員長 大久保利博
副委員長 安福 竜介

委員 萩原多恵士・陣内 純英
坂根 毅・浦 義浩